

平成 30 年度 第 1 回燕市生涯学習推進協議会 会議録（要旨）

日 時： 平成 30 年 7 月 25 日（水）午前 9 時 30 分～11 時 00 分

会 場： 燕市民交流センター 3 階 多目的ホール

出席委員： 小野塚委員、金子委員、田公委員、田中委員、中島委員、福田委員、水野委員、村山委員、柳原委員

欠席委員： 石附委員、滝本委員、真嶋委員、山宮委員

事務局： 燕市教育委員会 仲野教育長、更科社会教育課長、古澤副参事、浅野主任
商工振興課 柳原課長補佐、社会教育課 宮路副参事・平岡係長、子育て支援課 大西副参事、学校教育課 大森指導主事、地域振興課 外山主事、健康づくり課 高野専門員

報道機関： なし

傍聴者： なし

議 題： 報告

- (1) 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会の検討経過について
- (2) 燕市生涯学習人材バンクについて

協議

第 2 次燕市生涯学習推進計画における平成 29 年度の実績値と平成 30 年度の目標値について

- (1) 輝くつばめを担う子どもの育成
- (2) 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実
- (3) ふるさと燕の芸術文化活動の振興
- (4) 生涯スポーツの推進と健康づくりの推進
- (5) 生涯学習社会を支える環境づくり

その他

- (1) 燕市立図書館の空調設備等改修工事について
- (2) 燕市吉田産業会館改修工事とそれに伴う催事会場の変更について

[以下、会議録(要旨)]

報告

- (1) 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会の検討経過について
《事務局説明》

○委員

社会教育関係団体と文化協会に重複して加盟していた場合、減免率はどうなるのか。

○事務局

文化協会加盟団体であれば 80%減免になる。

○委員

広報つばめ 5 月 15 日号に市民アンケートの調査結果が掲載されていたが、生涯学習分野に対する市民の施策重要度の意識が低かった。

現状、無料であるにも関わらずこのような結果であるのに、有料化になるとさらに意識が遠のき、利用者が減少するのではないかと思うが、どのように考えているか。

○事務局

現在、無料であるため利用している団体もあると思う。そのような団体は今回の見直しによって活動が縮小してしまう恐れもある。

これを緩和するために、先程説明させていただいた清掃会等の減免追加措置も検討しているので、80%まで減免されるということでご理解をいただきたい。

同様のご意見は他の利用者の方もあると思うが、市民への説明会を開催し、丁寧な説明を行っていききたい。

○委員

公民館以外にも活動拠点がある場合、公民館から離れていく場合もあると思うがどのように考えているか。

○事務局

施設の維持管理費は市民の税金で賄われており、その税金は施設を利用する方、しない方の双方から徴収されている。その公平性を保つためにも受益者負担の原則から、利用する方には少額でも負担をお願いしたいということである。

○委員

社会教育委員がいると思うが、そこではどうなっているのか。

○事務局

燕市の附属機関で社会教育委員の会議があり、この 7 月 9 日に委員会を開催した。社会教育施設使用料の見直しにおいても本生涯学習推進協議会と同じ資料で検討経過の報告をさせていただいたところである。

値上り幅や活動人口の減少について懸念の声はあるものの、概ねご理解はいただいている。

○委員

今後、料金をとるということになると、現在の人員体制では不足すると思うので、効率よく工夫してやって欲しい。また、各施設によって様式が異なっており、指定管理を導入している施設もあるので、様式の統一も併せて行ってほしい。

○事務局

まず料金徴収による人員体制の変化については、事務マニュアル等を併せて見直し、慎重に検討していききたい。

また、様式についても統一したものに変更したいと考えている。また、市議会議員から様式の簡略化の要望をいただいているので、これも併せて検討したいと考えている。

○委員

100%減免の団体が、予備日も含めて複数予約を入れるため予約が取れないことがある。

結局 100%減免で無料ということになると、どんどん予約を入れて、他の団体が入りづらくなったりするので、100%減免はない方がよいと思う。

○事務局

使用料は、基本的に施設予約時に前納していただく形になる。このたびの見直しによって、使用料を少額でも負担していただくことになれば、予備日を多く設けるような予約は無くなっていくのではないかと考えている。

○委員

予備日をたくさん予約すると他の使いたい方が困るということもあるので、キャンセルが多かった団体にはペナルティを与えるということや、キャンセル料をとるということも検討した方がよいのではないかと考える。

新潟市の体育館は、1ヶ月に8時間までしか予約ができず、キャンセルを行ったら、ペナルティが付く仕組みもある。

○委員

5 ページの下段に「PTA団体が、保護者同士の親睦を図る目的でバレー大会を開催する」例が減免率を引き下げる例として記載されているが、違和感を覚える。

PTAの活動は全国的に減少してきており、推進していく必要があるので減免すべきと思う。

○事務局

この使用料の見直しについては、社会教育施設使用料見直し検討委員会という委員会を立ち上げ、協議を行っていただいている。

ご指摘のPTAの活動についても、検討委員会でも話題となり協議を行ったところである。

PTAは公共性の高い団体である。しかし、公民館等を利用している団体である社会教育関係団体が500以上ある中で、例えば手話サークルのように極めて公共性の高い団体もあれば、共通の趣味で集まっている団体もあり、活動内容が様々である。

そのような状況のなかで、減免率に差を付けるためどこかで線を引く必要があり、その判断基準について検討委員会で議論を行った。

その結果、活動内容から公共性において減免率に差を設けることは非常に困難であるため、活動目的を基準として考え、活動目的以外での活動は減免率を引き下げるという結論に達したものである。

例として挙げているPTAについては、本来の活動は非常に公共性が高く、100%減免に値するが、親同士の親睦を深めるバレー大会などは、通常为社会教育関係団体の活動と変わらないことから、社会教育関係団体と同じ50%減免まで引き下げる措置とするものである。

○委員

その部分も含めて、PTAの公共的活動だと思うが、議論によってあいまいな部分をこのように記載しておくことが良いのかということ。

○事務局

この使用料の見直しについては、これが決定事項ということではなく、あくまでも検討委員会の検討経過の報告ということであるので、本日、皆様からいろいろとご意見をいただき、検討委員会へ持ち帰り再度協議することも可能と考えている。

(2) 燕市生涯学習人材バンクについて

《事務局説明》

(質疑応答なし)

協議

(1) 輝くつばめを担う子どもの育成

《事務局説明》

○委員

ファミリーサポートセンターについて、要望だが、子育て支援における最後のセーフティネットになってくるかと思うので、提供会員も含めて拡充していただけるようPRに努めていただきたい。

○委員

提供会員と依頼会員のアンバランスがあるのか。

○事務局

提供会員数は、ほぼ横ばいで50代、60代、70代の方々が多く、高齢化の影響が見られる。依頼会員数は、減少傾向である。平均、月に3件程度の新規登録はあるものの、利用まで繋がらない。今後は、利用まで繋がるよう周知に努めていきたい。

○事務局

ファミリーサポートセンターについては、提供会員はいるものの、思うように利用に結び付いていない。簡単に言うと「お客さんが来ていない」ということだが、では、どこに行っているのか、というところがなかなか掴めていない。

一方で、最近、燕市内でも3歳未満の「未満児」の保育をして欲しいという要望がかなり多くなってきている。数字として急激に伸びているということではないが、そのような部分もあるのではないかと考えているので、委員の皆様からもいろいろなご意見を頂戴したい。

○委員

燕市のブックスタートは大変いい事業だと思う。4ヶ月健診の時に燕市は2冊もくれる。

子どもに本を読んであげることは非常に良いことと思うので、今後も続けてほしい。

(2) 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

《事務局説明》

○委員

「ボランティア・市民活動関連講座・研修の受講者数」について、要望である。広報つばめ音声訳ボランティアに参加しているが、ボランティア人口が少ないこともあり非常にハードなボランティアである。講座や研修をもっと積極的に開催し、ボランティア数を増やしてほしい。予算がなく開催できないと言われるが、そのような問題もあるので、予算も含めて前向きに検討してほしい。

○委員

男女共同参画もそうだが、性的多様性の尊重、いわゆるLGBTについてはどのような取り組みを行っているか。

○事務局

地域振興課ではなく、市民課になるが、人権プラン（燕市人権教育・啓発推進計画）を現在策定中であり、その中にLGBTについても記載されている。

○事務局

LGBTについては、近年、マスコミでもよく目にするようになっており、国でも取り組みを開始している。その前段が「障害者差別解消法」であると認識しており、小中学校の校長会でも「できることから取り組もう」という話をしている。

中学校程度から表に現れ始めるという話も聞いているので、実態把握も含めて具体的な対応を今後検討していく必要があると考えている。

(3) ふるさと燕の芸術文化活動の振興

《事務局説明》

○委員

文化会館の自主事業について要望である。数年前にオペラ歌手の方をお呼びしてジョイントコンサートを実施した。プロの歌手の方と燕市のサークルと一緒に歌を歌う機会は、非常に貴重でとても良いことである。近年、落語家の方をお呼びする風潮が続いている気がするので、是非、検討していただきたい。

○事務局

今後検討させていただきたいと思う。どれだけ集客があるかということ踏まえて事業を検討しているが、燕市ではオペラの集客があまりないということで、より多くの市民に楽しんでいただけるよう、集客力の高い落語に最近シフトしている。

いただいたご意見は、文化会館運営審議会で検討していきたい。

○委員

博物館関係が毎年低調でバツが付くことが多い。学校の校外学習、総合学習との連携が重要視されている中では、少子化の影響もあり難しい部分もあるのかもしれない。

その他、博物館として考えなければいけないのは、集客だけではなく、調査研究が根であり、収取保管が幹である。住民のローカルアイデンティティの拠り所であるので、集客以外にもそのような取組みをどのように行っているのかということが伝わると我々の見方も変わってくるかと思う。

(4) 生涯スポーツの推進と健康づくりの推進

《事務局説明》

○委員

健康づくりマイストーリー運動の参加人数だが、男女比は把握しているか。

○事務局

男性が39%、女性が61%の比率となっており、女性が多い傾向にある。

検診時の受診票を活用して、マイストーリー運動の案内を行っているので、男女ともに増えていくよう今後も努力していきたい。

(5) 生涯学習社会を支える環境づくり

《事務局説明》

○委員

つばめ若者会議は、新潟で最初にできた若者会議であり、積極的に活動しており発信力もある。ここに数字として挙がっていないが、評価している。

また、パソコン講座についてだが、近年、パソコンというよりもタッチパネルのデジタルメディアという風潮になってきているので、そのあたりの時代にあった検討も必要かもしれない。

その他

(1) 燕市立図書館の空調設備等改修工事について

(2) 燕市吉田産業会館改修工事とそれに伴う催事会場の変更について

《事務局説明》

○委員

燕市立図書館の改修工事についてであるが、図書館では新聞を読んでいる高齢者の方々も多くいらっしゃる。そのような方々への対応はどのように考えているか。

○事務局

燕市立図書館の工事に伴う休館中は、仮設図書館を中央公民館の1階に設ける訳だが、中央公民館でも来館者用に新聞をとっており、1階ロビーで来館者が読んでいる。

これを、休館期間中もご利用いただけるのではないかと考えている。

○委員

その部分を含めて広報等で周知をお願いしたい。

○委員

産業会館が工事になるために、産業会館の催事が会場変更になることは周知されていると思うが、以前、なんの通知もなく公民館の会場が変更になっていた。公民館で活動している方々に対し、産業会館の工事の影響で部屋が変わった場合の周知がされていない。

本来は1ヶ月前に通知しなければいけない決まりになっているはずである。

○事務局

申し訳ありませんでした。

ご指摘を担当へ伝え、再発防止に向け周知徹底したいと思う。

閉会